



2023年度 環境経営レポート

活動期間

2023年 4月 1日～2024年 3月31日



2024年 6月24日作成
2025年 5月16日改定

株式会社**昭和測器**

目 次

1. 環境経営方針	1
2. 会社概要	2
3. 実施体制	4
4. 対象範囲	6
5. 環境経営目標とその実績	7
6. 環境経営活動の内容と取組結果の評価、次年度の 取組内容	8
6.1 二酸化炭素排出量の節減	
6.2 廃棄物の節減	
6.3 水使用量の節減	
6.4 化学物質使用量の節減	
6.5 グリーン購入の推進	
6.6 自らが生産・販売・提供する製品 及びサービスの環境配慮	
6.7 消防訓練	
7. 2023年度以降の環境経営目標	16
8. 環境関連法規遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無	17
9. 内部監査	18
10. 代表者による全体の評価と見直しの結果	18

1. 環境経営方針

基本理念

当社は持続可能な社会を実現するため、また企業としての社会的責任を果たすため環境に配慮した物作りを実践するべく、ここに環境経営マネジメントシステム「エコアクション2.1」に取り組むことを宣言します。

行動指針

当社の置かれた現状を踏まえ、3つの重点項目を掲げ、現状把握を行い各年度の節減目標を設定し改善に取り組みます。

- 1 環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
 - 2 環境法規制を遵守します。
 - 3 次の項目を重点活動と定め、事業活動の環境負荷及び当社製品・サービスに対し環境配慮を実践します。
- 電気・ガソリン等のエネルギーの使用量を低減します。
 - 廃棄物の排出量を削減し、分別を徹底し、再資源化を推進します。
 - 水の使用量を低減します。
 - 化学物質の保管場所を定め適正管理を実践します
 - 資源節約に配慮し、グリーン購入を推進します。
 - 当社製品及び当社が提供するサービスに対し環境配慮を推進します。

制定 2010年 4月 1日

改定 2019年 4月 1日

株式会社 昭和測器

代表取締役社長

森川章男

2. 会社概要

- 事業者名 株式会社昭和測器
- 代表者名 代表取締役社長 森川 章男
- 所在地

本社

〒121-0812

東京都足立区西保木間 1 - 1 7 - 1 6

京都営業所

〒602-8031

京都市上京区東裏辻町 4 0 3 - 3

リノコート 2F

工場

〒121-0064

東京都足立区保木間 5 - 2 4 - 2 7

- 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
 - 環境管理責任者 小椋 高明
 - エコアクション21事務局 石山 諒
 - 連絡先 TEL 03-3858-3241(代)
 - FAX 03-3859-1240

- 事業内容 ひずみゲージ及びひずみゲージを応用した各種変換器、測定器、計測システム等の設計・開発・製造・修理・校正および販売

- 事業規模

主要製品出荷量	5,392台
資本金	40,000,000円
設立	1962年（昭和37年）2月1日
事業年度	4月1日～3月31日
従業員数	90名
事業所床面積	本社 620 m ² 京都営業所 58 m ² 工場 1,458 m ²

■ 関連事業所

有限会社昭和精密
代表取締役社長 石山恵子

■ 所在地

〒121-0064
東京都足立区保木間 5－24－27

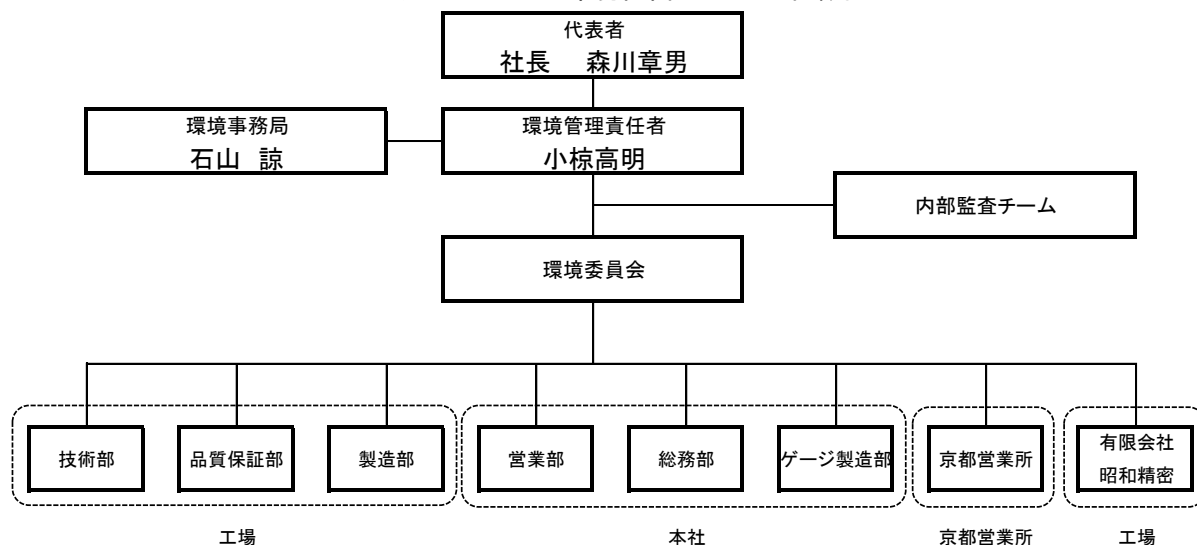
■ 事業内容 ひずみゲージを応用した各種変換器の主要部品機械加工

■ 事業規模

主要製品出荷量	2,449台
資本金	15,000,000円
設立	1978年（昭和53年）12月1日
事業年度	2月1日～1月31日
従業員数	7名
事業所床面積	432 m ²

3. 実施体制

エコアクション2.1環境経営システム組織図



認証・登録の適用範囲

住所：東京都足立区西保木間 1-17-16 (本社)
 東京都足立区保木間 5-24-27 (工場、昭和精密)
 京都府京都市上京区東裏辻町 403-3 (京都営業所)
 活動：ひずみゲージ及びひずみゲージを応用した各種変換器、測定器、計測システム等の
 設計・開発・製造・修理・校正および販売

	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な資源（人、設備、費用、情報）を用意 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムを構築し、維持 ・環境関連法規のとりまとめを承認 ・環境活動実施計画書を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・内部監査責任者の任命
環境事務局	・環境管理責任者、環境委員会の事務局 ・環境への負荷の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境経営レポートの作成 ・環境経営目標・環境活動実施計画書原案の作成 ・環境経営活動実施計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・EA21 関連の従業員への教育訓練の計画、実施 ・環境委員会の招集

環境委員会	・ 3 ヶ月毎に開催する ・ 出席者は環境管理責任者、環境事務局員、責任者（各環境活動項目） ・ 当該年度における 3 ヶ月毎の環境活動の実施状況の確認、評価 ・ 委員会構成員からの意見、要望、指示事項の伝達
責任者（環境活動項目）	・ 担当する目標項目の活動計画における実施状況の取り纏め ・ 担当する目標項目の問題点の発見、是正、予防処置
担当者	・ 担当する目標項目の活動計画の実施 ・ 担当する目標項目の従業員への周知
従業員	・ 環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

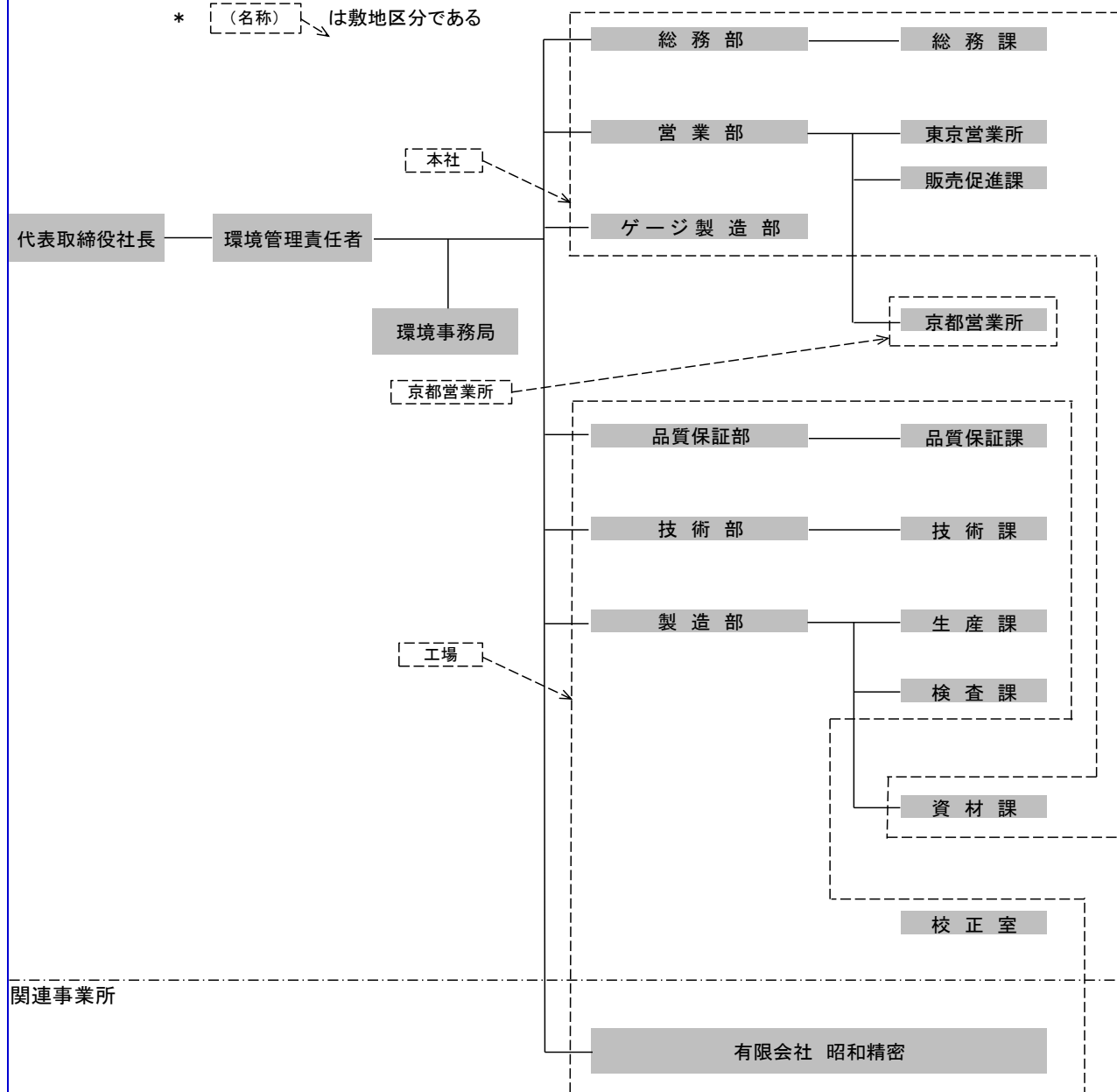
内部監査責任者	・ 年 1 回、実施する ・ 環境に関する監査プログラムの計画・実施。 ・ 監査基準及び監査範囲を定める。 ・ 監査結果を関連する管理層に報告することを確実にする。 ・ 停滞なく適切な修正を行い、是正処置をとる。
内部監査員	・ 環境に関する内部監査の計画 ・ 環境に関する内部監査の実施・報告

4. 対象範囲

株式会社 昭和測器 エコアクション21組織図

* あみかけのある部門が認証・登録範囲である

* (名称) は数地区分である



2022年7月1日改訂

5. 環境経営目標と実績

活動期間 2023年4月1日～2024年3月31日

項目	内容		単位	目標	実績	結果	削減率
二酸化炭素 排出量の削減	電気使用量	工場	kWh	281,702	260,498	○	7.53% 減
		本社	kWh	67,327	69,965	×	-3.92% 増
		京都	kWh	5,732	5,245	○	8.50% 減
	ガソリン 使用量	工場	km/l	14.18	12.03	×	15.16% 減
		本社	km/l	13.93	12.56	×	9.80% 減
	二酸化炭素全排出量 (電力、ガソリン、灯油、 液化石油ガス(LPG)を含む)		kg-CO ₂	-----	171,199	---	-----
廃棄物排出量 の削減	工場の廃棄物 排出量	一般廃棄物	kg	646.0	305.0	○	52.79% 減
		産業廃棄物	kg	760.0	519.9	○	31.59% 減
	本社の廃棄物 排出量	一般廃棄物	kg	1,311	712.6	○	45.64% 減
		産業廃棄物 (特別管理廃棄物含む)	kg	7,405	5,233.1	○	29.33% 減
水使用量の 節減	水道使用量	工場	m ³	550.0	468.5	○	14.82% 減
		本社	m ³	550.0	470.8	○	14.40% 減
化学物質 使用料の節減	化学物質 使用量	工場	kg	適正管理	取引先からの RoSH, REACH規制な どの調査依頼対応	○	
グリーン購入 の推進	グリーン 購入	工場	件	現状把握	149	---	-----
		本社	件	現状把握	71	---	-----
		京都営業所	件	現状把握	47	---	-----
製品及び サービスの 環境配慮	化学物質適 正管理	工場	kg	570-28R	1.079	---	---
				361A-20R	7.33	---	---
				ハイスピード ソルダー143	0.26	---	---
				フラクゾールC ジクロロメタン	0.00	---	---
		本社	kg	#70 H-60A Φ0.5	0.00	---	---
				#70 H-60A Φ1.0	0.60	---	---
				平棒はんだ H-60A	1.00	---	---
				平棒はんだ H-60A	6.53	---	---
				砒酸	1.20	---	---
				塩化第二鉄溶液	25.00	---	---
				ニクロム酸	0.31	---	---
				アンモニウム フラクゾールC ジクロロメタン	2.00	---	---

電力のCO₂調整後排出係数

本社、工場：令和3年度 東京電力エナジーパートナー株式会社 0.457kg-CO₂/kWh

京都：令和3年度関西電力株式会社 0.311kg-CO₂/kWh

6. 環境経営活動の内容と取組結果の評価

6.1 二酸化炭素排出量の削減

■ 電気使用量

2023年度目標		
工場	本社	京都営業所
281,702 kWh (2016～2018年の平均値 290,413 kWh に対し -3.0%)	67,327 kWh (2016～2018年の平均値 69,409 kWh に対し -3.0%)	5,732 kWh (2016～2018年の平均値 69,409 kWh に対し -3.0%)

具体的達成手段		
工場	本社	
・ 休憩時間の消灯確認 ・ エアコンの日常点検 ・ 除湿機の稼働によるエアコン稼働率削減	・ 休憩時間の消灯確認 ・ エアコンの日常点検	・ 休憩時間の消灯確認

評価			
	工場	本社	京都営業所
結果	○	×	○
使用電力量 [kWh/年]	260,498	69,965	5,245
二酸化炭素 [kg-CO ₂]	115,400	30,994	1,631
対目標比	7.53 % 減	3.92 % 増	8.50 % 減
詳細	通年では、対目標比21,204kWh減で、目標達成率107.5%だった。主たる原因は昭和精密の稼働率と工場側の残業減少により動力使用量が減ってきているからではないかと考える。来年度も現状維持で活動していく。	年間通して、目標達成率99.2%となり、わずかながら未達成となった。各月ごとの実績の変動のしかたは、目標値と同じく季節性を示している。来年度の目標も現状維持として活動を実施する。	今年度はデータ取りと考えている事が前提ではあるが、487kWhの削減となり、目標達成率としては108.5%と大きく上回った。1年間のデータが取れたので、2023年度の-1%を目標値とし、2024年度の活動に臨む。



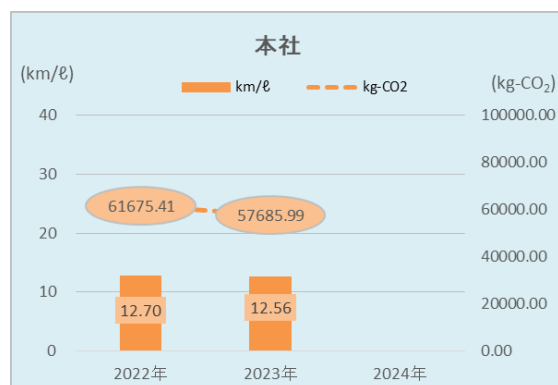
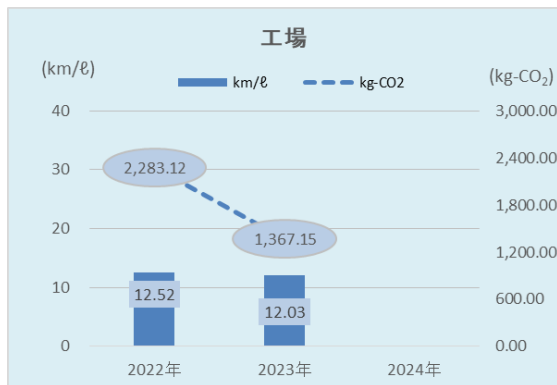
環境管理責任者の指示事項		
工場	本社	京都営業所
来年度も経営状況を考慮すると稼働率の増減が予測できないので、現状維持で様子を見て頂くようお願いいたします。一年間ご苦労様でした。	一年間の総使用料としては、節電効果が出ていますと思われる。4月以降も資材課の残業時間が増えると思われる。その辺も考慮して監視をお願いします。一年間ご苦労様でした。	来年度は目標に対しての結果を注視して頂き、改善余地の有無を検討していきましょう。一年間ご苦労様でした。

ガソリン

2023年度目標	
工場	本社
14.18 km/ℓ (2017～2018年度の燃費 13.93 km/ℓ に対して -11.7% 向上)	13.93 km/ℓ (2017～2018年度の燃費 13.02 km/ℓ に対して -8.8% 向上)

具体的達成手段【共通】
・アイドリングストップを心がける。 ・エコなアクセルワークを心がける。 ・エアコンの設定温度を控えめにする。

評価		
	工場	本社
結果	×	×
燃費 [kg/ℓ]	12.03	12.56
二酸化炭素 [kg-CO ₂]	1,367.15	57,685.99
対目標比	15.16 % 減	12.56% 減
詳細	年間を通し月別で目標達成した月は1月のみ。給油を行っていない月の燃費は計算されない為、△が多いが基本×(未達)といってもいい。基本的に近距離走行が多く最近では工場ー本社間は自転車の利用が増加した為、車の使用頻度も減っている。	目標に対して 90.2%となり目標を達成出来ませんでした。達成出来なかった主な理由としては、車種毎の燃費差、使用環境等の違いが大きいです。



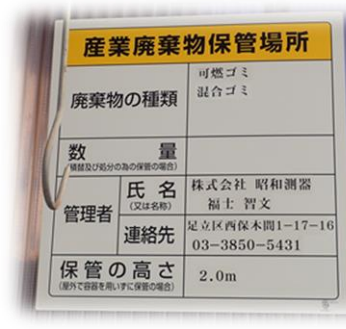
環境管理責任者の指示事項	
工場	本社
工場の車は使用頻度が少ないため、燃費を監視対象とせず、ガソリンの総使用料を監視し、年間のCO2排出量を報告していく形の方が好いかもしれません。来年度は審査員に相談しながら、監視方法を検討しましょう。一年間ご苦労様でした。	各車両別で燃費を割り出すと達成できない要因が確認できるかもしれません。一年間ご苦労様でした。

6.2 産業廃棄物の排出量削減

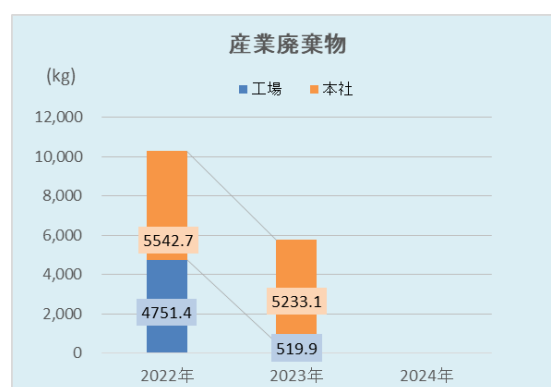
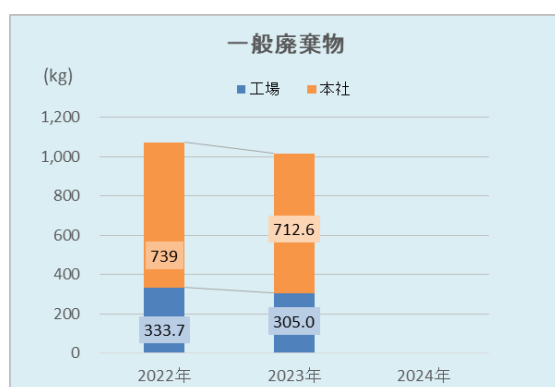
■ 一般廃棄物・産業廃棄物の排出量削減

2023 年度目標			
工場		本社	
一般廃棄物	産業廃棄物	一般廃棄物	産業廃棄物
646.0 kg (2016～2018 年度の平均値 659.0 kg に対して -2 %)	760.0 kg (2016～2018 年度の平均値 775.0 kg に対して -2 %)	1311.0 kg (2016～2018 年度の平均値 1,338.0 kg に対して -2 %)	7405.0 kg (2016～2018 年度の平均値 7,556.0 kg に対して -2 %)

具体的達成手段 【共通】	
一般廃棄物 産業廃棄物	廃棄物排出量の実測



評価				
	工場		本社	
	一般廃棄物	産業廃棄物	一般廃棄物	産業廃棄物
結果	○	○	○	○
実績 [kg/年]	305.0	519.9	712.6	5233.1
対目標日	52.79 % 減	31.59 % 減	45.64 % 減	29.33 % 減
詳細	年間を通じての目標を達成しており、粗大ゴミの排出量も減ってきているようです。今後も引き続き監視をしていきます。		年間を通じて一般廃棄物及び、産業廃棄物どちらも目標を達成しております。今後も監視に努めていきます。	



環境管理責任者の指示事項	
全体	
目標値は変更せず、引き続き廃棄物の削減に努めること。	
工場	本社
一年通して問題なしと判断できます。工場は生産状況の影響を受けやすいですが、来年度も現状維持が出来たら、目標値変更を検討していきましょう。一年間ご苦労様でした。	一年通して問題なしと判断できます。来年度も現状維持が出来たら、目標値変更を検討していきましょう。一年間ご苦労様でした。

6.3 水使用量の節減

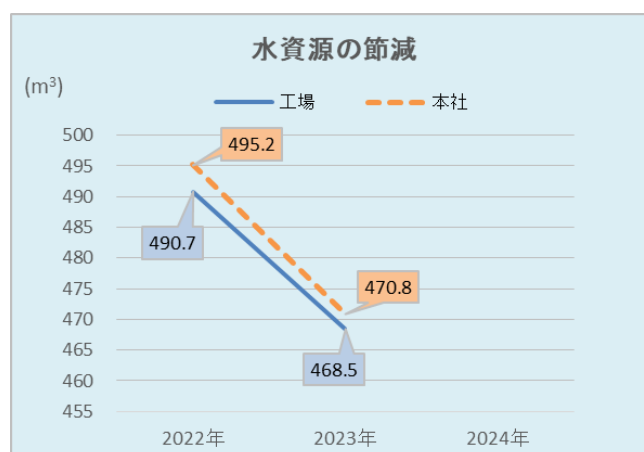
2023 年度目標【共通】
550 m ³ （現状維持）

具体的達成手段【共通】
・蛇口の閉め忘れ(ポタポタ)目視チェック ・水栓器具の点検・部品交換



節水の呼びかけ

評価		
対象	工場	本社
結果	◎	◎
実績 [m ³ /年]	468.5 m ³	470.8 m ³
対目標比	14.82 % 減	14.40 % 減
詳細	年間目標550m³に対して、実績は468.5m³(工場)・470.8m³(本社)となり目標を達成しました。節水を意識していただいている結果だとは思いますが、年間目標を2022年度に対しては100m³下げましたが、目標を超えることはありませんでした。目標変更は妥当だったと判断します。	



環境管理責任者の指示事項
全体 来期も引き続き水使用量の維持に努めること。 来年度は目標変更し、活動をお願いいたします。一年間ご苦労様でした。

6.4 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスの環境配慮

■ 使用化学物質の保管場所を定め管理する

2023 年度目標 (取組)
取引先から、RoHS,REACH 規制等の調査依頼に迅速に対応する。

評価
RoHS 34 件 , chemSHERPA 1 件 IMDS 1 件 , その他 1 件
TSCA の問い合わせが増加すると思われたが 0 件でした。(2024 年度から規制が開始)

環境管理責任者の指示事項
来期も取引先の化学物質管理に関する要求に適宜応えてください。

6.5 グリーン購入の推進

2022 年度適応件数		
工場	本社	京都営業所
149 件	71 件	47 件

具体的達成手段 【共通】
発注時に確認



環境管理責任者の指示事項
引き続き、グリーン購入法、エコマーク表示品購入を推進して下さい。

6.6 化学物質使用量の削減

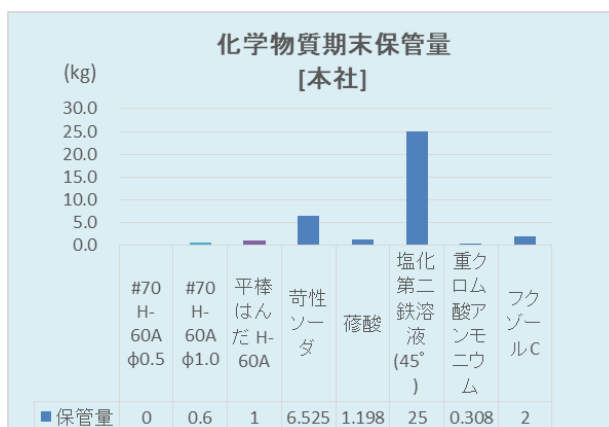
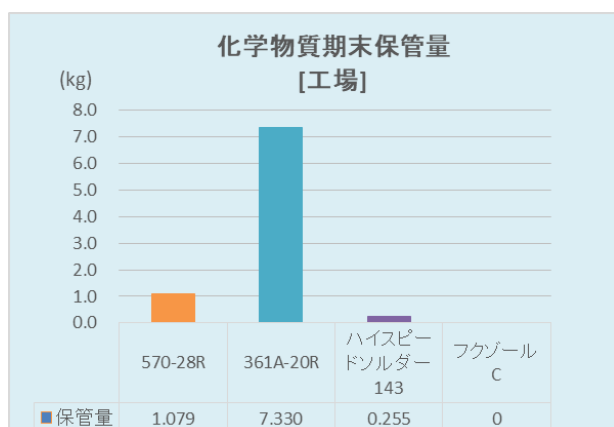
■ 化学物質の適正管理

2023 年度目標(取組)
鉛入りはんだ、溶剤の保有量(使用量)を把握し適正に管理を行う

具体的達成手段
首記、期末に実量計測を行い、使用量を算出する

期末保管量 (kg)	
工場	
570-28R	1.079
361A-20R	7.33
ハイスピード ソルダー143	0.26
フクゾールC ジクロロメタン	0.00

期末保管量 (kg)	
本社	
#70 H-60A Φ0.5	0.000
#70 H-60A Φ1.0	0.600
平棒はんだ H-60A	1.000
苛性ソーダ	6.525
砒酸	1.198
塩化第二鉄溶液	25.000
ニクロム酸 アンモニウム	0.308
フクゾールC ジクロロメタン	2.000



環境管理責任者の指示事項
工場：製作現場において現状維持をお願いし、本製品の監視を終了とする。来季は新たな目標を定めて活動を行って下さい。
本社：引き続き管理をお願いします。

6.7 消防訓練

●工場

実施日	2024年 3月 11日(月)
時間	13 : 00 ~ 14 : 00
種別	避難訓練(火災)
実施人員	8 名
実施内容	非自衛消防隊員を対象にWebにて自衛消防訓練の動画を鑑賞し知識を深めた。

●本社

実施日	2024年 3月 4日(月)
時間	10 : 00 ~ 11 : 00
種別	避難訓練
実施人員	7 名 (自衛消防隊員2名含む)
実施内容	非自衛消防隊員を対象にWebにて自衛消防訓練の動画を鑑賞し知識を深めた。

7. 2024年度以降の環境経営目標

項目	内容		単位	基準値	2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素 排出量の削減	電気使用量	工場	kWh	2016～2018年度平均値	-3%	-3%	-3%
				290,413	281,702	281,702	281,702
			kg-CO ₂	113,261	109,864	109,864	109,864
		本社	kWh	2016～2018年度平均値	-3%	-3%	-3%
				69,409	67,327	67,327	67,327
			kg-CO ₂	27,070	26,257	26,257	26,257
		京都	kWh	2022年度平均値	-3%	-3%	-3%
				5,732	5,560	5,560	5,560
	kg-CO ₂		2,488	2,413	2,413	2,413	
	ガソリン使用量	工場	km/l	2017～2018年度平均値	-10%	-10%	-10%
15.76				14.18	14.18	14.18	
本社		km/l	2017～2018年度平均値	7%	7%	7%	
			13.02	13.93	13.93	13.93	
廃棄物排出量 の削減	工場	一般廃棄物	kg	[kg]	-2%	-2%	-2%
				659	646	646	646
		産業廃棄物	kg	[kg]	-2%	-2%	-2%
				775	760	760	760
	本社	一般廃棄物	kg	[kg]	-2%	-2%	-2%
				1,338	1,311	1,311	1,311
		産業廃棄物	kg	[kg]	-2%	-2%	-2%
				7,556	7,405	7,405	7,405
水使用量の 節減	水道使用量	工場	m ³	550	550（現状維持）	550（現状維持）	550（現状維持）
		本社	m ³	550	550（現状維持）	550（現状維持）	550（現状維持）
化学物質 の適正管理	化学物質 の適正管理	工場	kg	適正管理	記録管理		
		本社					
グリーン購入 の推進	グリーン購入	工場	件	現状把握	エコマーク表示品の購入を推進します。		
		本社					
		大阪出張所					
製品及び サービスの 環境配慮	化学物質 の適正管理	工場	kg	適正管理	記録管理		

電力のCO₂調整後排出係数

本社、工場：令和4年度 東京電力エナジーパートナー株式会社 0.390kg-CO₂/kWh

京都：令和4年度関西電力株式会社 0.434kg-CO₂/kWh

8. 環境関連法規遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規等の取りまとめ（兼遵守評価表）により、2024年4月遵守評価した結果、環境関連法規への違反はありません。なお関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

環境関連法規等の取りまとめ（兼遵守評価表） [工場、昭和精密]				承認	確認	作成
2012/03/31作成 2021/03/31改訂 2024/04/01遵守評価実施(毎年1回実施)				登坂	小椋	外山
法律・条例・その他 名称(最近の改正日)	環境に関係する 機械設備・施設・作業等	当社の対応状況 (許可、届出、記録、報告等)	評価項目 内容	遵守評価		
				実施日	結果	評価者
都民の健康と安全を確保する環境に関する 条例(環境確保条例) H12年12月22日制定 (R2年3月31日改正)	・工場	・工場設置(変更)認可申請書 (H19年12月27日認可)	認可書	2024/04/01	OK	外山
		・業種、建物の構造等変更の場合	—	—	—	—
		・工事完成届出書	届出書	2024/04/01	OK	外山
		・表示板(事務所入口)	目視	2024/04/01	OK	外山
		・変更等の場合届ける	—	—	—	—
		・継承した場合届ける	—	—	—	—
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 S45年12月25日制定 (R4年6月17日改正)	・もやすごみ	・委託契約書 (東武クリエイティブ)	契約書	2024/04/01	OK	外山
	・金属くず					
	・廃プラスチック	・掲示板及び置場設置	目視	2024/04/01	OK	外山
		・委託契約書 (東武クリエイティブ、ハチオウ)	契約書	2024/04/01	OK	外山
		・マニフェスト保管(未回収確認)	マニフェスト	2024/04/01	OK	外山
		・毎年6月末まで、都知事あて	報告書	2024/04/01	OK	外山
騒音規制法 S43年6月10日制定 (R4年6月17日改正)						
		工場認可時の防音対策	監視	2024/04/01	OK	外山
規制基準:足立区告示						
	特定施設無し					
振動規制法 S51年6月10日制定 (R4年6月17日改正)						
		工場認可時の防振対策	監視	2024/04/01	OK	外山
規制基準:足立区告示						
	特定施設無し					
フロン類の使用の合理化及び 管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法) H25年6月12日制定 (R4年6月17日改正)	・業務用エアコン 16台	・簡易点検実施・記録		2024/04/01	OK	外山
	(廃棄なし)	登録許可を受けた業者に出す	委託確認書等	2024/04/01	OK	外山
消防法 S23年7月24日制定 (R4年6月17日改正)	・甲種防火対象物(500㎡以上)に該当	・防火管理者の選任	資格取得	2024/04/01	OK	外山
	・屋内消火栓・火災報知機・消火器	・点検委託(吉田防災工事)	点検結果報告書	2024/04/01	OK	外山
東京都火災予防条例 S37年3月31日制定 (R4年4月1日改正)	・洗浄剤(4類アルコール類)	・在庫量200L以下	在庫量	2024/04/01	OK	外山
	・洗浄剤(4類第1石油類)					
特定家庭用機器再商品化法 H10年6月5日制定 (R2年4月1日改正)	・家庭用エアコン 3台	・廃棄時の適切な処理 (専門業者に依頼、委託する)	家電 リサイクル券	2024/04/01	廃棄なし	外山
	・冷蔵庫 6台			2024/04/01	廃棄なし	外山
	・テレビ 2台			2024/04/01	廃棄なし	外山
資源の有効な利用の促進に関する法律 H3年4月26日制定 (R4年5月20日改正)	・パソコン(リース以外) 57台	・廃棄時の適切な処理 (専門業者に依頼、委託する)	伝票類	2024/04/01	廃棄なし	外山
下水道法 S33年4月24日制定 (R4年8月20日改正)	・雨水排水	・鉱油類含有量に注意	目視	2024/04/01	OK	外山
使用済自動車の再資源化等に関する法律 H14年7月12日制定 (R4年6月17日改正)	・社用車 1台	・廃車時の適切な処理 (専門業者に依頼する)	自動車 リサイクル券	2024/04/01	廃棄なし	外山

9. 内部監査

今年度の内部監査は、従業員数 100 名以下のため実施いたしません。
今後のことも踏まえ、準備を整えます。

10. 代表者による全体の評価と見直しの結果

「代表者による全体の評価と見直し」を、2024年 6月12日に実施しました。
電気・水・廃棄物の節減及び削減が漸次進んでいることを評価しました。
責任者・担当者は監視項目の増減要因をよく分析し、さらなる向上に努めるよう指導しました。

変更の 必要性	対象	変更の有無	内容
	環境経営方針	☐ 有／ ☒ 無	削減ということで活動している中、各項目の責任者は「出来ません」という考えを捨て、前向きに今年度も継続して活動する事を宣言。
	環境経営目標 環境経営計画	☐ 有／ ☒ 無	昨年度の目標を継続して活動する事を宣言。
	実施体制	☒ 有／ ☐ 無	・ 環境管理責任者 現：小椋課長 新：三上工場長 ・ 環境事務局 現：阿部 新：石黒 ・ 一般、産業廃棄物排出削減 - 昭和精密 現：阿部 新：北川係長 - 本社 現：藤巻係長 新：関根係長 ・ 特別廃棄物 現：藤巻係長 新：関根係長 ・ 化学物質使用量の適正管理 - 工場 現：成田 新：重信係長 ・ 関連環境法規 現：小椋課長 新：三上工場長 ・ 資源投入量 現：岡本課長 新：小椋課長 ・ グリーン購入推奨 - 管理 現：岡本課長 新：小椋課長 - 工場 現：岡本課長 新：小椋課長 - 本社 現：岡本課長 新：小椋課長 - 京都 現：岡本課長 新：小椋課長 ※変更理由：退職および組織変更等による。

従業員一丸となり環境経営活動を推進し、社会的責任を果たすため目標達成に努力し、環境負荷を低減し、環境社会形成のため努力いたします。



環境事務局メンバー



**新基準機
導入**
校正事業者の
技術能力の証明

5MN力基準機

国内高水準の校正力《0.5級》を誇る

2021年4月1日より
国際MRA対応認定事業者として
5MNまで力の校正範囲拡大に伴い、
一軸試験機用力計の
JCSS校正サービスを開始

- 50kNから5MNまでの
校正が可能(0.5級対応可)
- ISO/IEC17025の
要求事項に適用
- 校正の方法はJIS B 7728
による方法

株式会社 昭和測器
<http://www.showa-sokki.co.jp>

弊社は、校正事業者登録制度(JCSS)に基づく国際MRA対応認定事業者です。昨年、5 MN 油圧式力基準機を新規導入し JCSS 校正サービスの校正範囲を大幅に拡大しました。

<力基準機一覧>

- ・ 5 MN 油圧式力基準機 (2021 年 4 月 1 日より校正サービス開始)
- ・ 200 kN こうかん式力基準機
- ・ 20 kN こうかん式力基準機

お問い合わせ先

〒121-0812 東京都足立区西保木間1-17-16

TEL. 03-3850-5431 FAX. 03-3850-5436